



4月 虹だより

令和2年4月 虹のこころ保育園

出会いの4月。

ご入園、ご進級、おめでとうございます。

卒園していった子どもたちが植えた満開のチューリップが、皆さんにお祝いしているかのようです。

また、祝いのこの時期に、新型コロナウイルスの猛威で思うようにならないこともあります。保育園で過ごす時間は、ご家庭に代わって精いっぱい保育をさせていただきます。

今年度も職員一同、よろしくお願ひいたします。

お知らせ

4月予定

24日(金)避難訓練

30日(木)誕生会

端午の節句



- ・絵本の貸し出しは6月からです。昨年度の金曜日から木曜日に変ります。3歳以上のお子さんは袋が必要になりますので、貸出日までにご用意ください。
- ・スポーツ振興センター(保険)加入のため300円を黄色の集金袋に入れ、6日にご持参ください。(虹のこころ保育園 保育のしおりに記載)

新しい環境への不安

子どもたちは進級した喜びをかみしめていることと思います。また一方では不安な気持ちになっているお子さんもいます。その不安はどのようなところで現れるかはお子さんによって違います。そこで、私たちがよく目にする光景と対処法をお知らせします。小さなことでも心配な時には、担任の様子を聞いてください。

ちょっとしたことで泣く

登園して保護者の方と別れるとき、離れたがらず泣くときがあります。新しい部屋や新しい保育者に慣れていないことが考えられます。保育士に声を掛けて預けてください。安心するまで寄り添います。泣くことは、離れる時だけのことが多いので、安心してお預けください。

何もしようとしない

恥ずかしかったり、みんなはどんな遊びをするのか、新しい保育者はどのような人なのか、周りを観察していることが多いです。観察して納得すると行動できることが多いです。あまりせかしたり、声を掛けすぎないで、様子を見てください。

保育者の側から離れない

周りに圧倒されたり、部屋が変わっただけで不安になり保育者だけがよりどころになっていて、エプロンをつかんでしがみついて離れない子がいます。私たちは無理に離すことはしません。自分から友だちの中に入って行かれるまで、又は、保育者が仲立ちをして安心して友だちの輪に入りやすいように配慮していきます。

新入園のお子さんが泣く

保護者の方から離れる時に泣くのは自然のことです。愛着が形成されているところから離されるのですから不安になります。ですが、我慢せずに泣いて発散することで早く慣れる場合が多くあります。保護者の方としては泣かれることで切なくなります。泣くことが保育園に慣れるための近道でもあります。預ける時のコツは泣いていても保育者に任せてサッと離れることです。